

第 28 回 愛媛形成外科研修会  
抄 録 集

日 時 平成 23 年 11 月 26 日 (土) 17 時 30 分～  
場 所 独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター  
3 階 研修室  
松山市南梅本町甲 160 TEL : 089-999-1111)  
当番世話人 愛媛県立中央病院 形成外科 小林 一夫

## 第 28 回 愛媛形成外科研修会

### 研修会

1. 受付は当日 17 時 00 分より会場で行います。  
※お車でお越しの方は、誠に申し訳ございませんが一律 100 円の駐車料金がかかります。
2. 参加費は 2000 円を申し受けます。
3. 演者で、まだ研修会会員でない先生は、入会の手続きをお取り下さい。
4. 討論時間は、一題あたり 5 分を予定しております。
5. 発表形式は Windows Power Point 2003 による PC プレゼンテーションをお願いいたします。(当日は USB メモリーあるいは PC 本体を持参して下さい。)

### 連絡先

〒791-0280 愛媛県松山市南梅本町甲 160

愛媛県立中央病院 小林一夫

E-mail: kobak@silver.plala.or.jp

TEL: 089-999-1111

# 会歴

会 期	世 話 人	会 場	日 時	参加者
第1回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	松山成人病センター	平成10年7月4日	15名
第2回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県医師会研修所	平成10年12月5日	17名
第3回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	松山成人病センター	平成11年6月19日	20名
第4回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成11年11月27日	19名
第5回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成12年6月24日	17名
第6回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成12年12月9日	20名
第7回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成13年6月23日	23名
第8回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成13年12月8日	23名
第9回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成14年6月8日	27名
第10回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成14年12月14日	27名
第11回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成15年6月28日	25名
第12回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成15年12月13日	25名
第13回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成16年6月26日	26名
第14回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成16年12月4日	29名
第15回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成17年6月18日	31名
第16回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成17年12月10日	35名
第17回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成18年6月24日	31名
第18回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成18年12月9日	26名
第19回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成19年6月16日	37名
第20回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成19年12月15日	30名
第21回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成20年6月14日	30名
第22回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成20年12月6日	30名
第23回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成21年6月27日	32名
第24回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成21年12月12日	28名
第25回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成22年6月19日	34名

第26回	田中 伸二 (石川病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成22年12月11日	30名
第27回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成23年6月18日	31名
第28回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成23年11月26日	名

独立行政法人 国立病院機構

## 四国がんセンター

愛媛県松山市南梅本町甲 160

(TEL : 089 - 999 - 1111)

最寄り駅：伊予鉄横河原線 梅本駅下車 徒歩 5分

伊予鉄横河原線 牛湍団地前駅下車 徒歩 6分



プログラム

Section I (17:30~18:00) 座長：愛媛県立中央病院 形成外科 石野 憲太郎

1. IVR 後、晩発性放射線潰瘍を生じた 1 例  
愛媛労災病院 形成外科 木暮 倫久
2. Buerger 病 2 例の治療経験  
住友別子病院 形成外科 渡邊 敏之
3. 指輪による右環指皮下異物の 1 例  
石川病院 形成外科 戸田 皓大

Section II (18:00~18:40) 座長：松山市民病院 形成外科 光野 乃祐

4. Subcutaneous panniculitis-like T cell lymphoma の 1 例  
四国がんセンター 形成外科 藤田 悟志
5. 神経鞘腫と病理診断された 2 症例の臨床像  
愛媛県立中央病院 形成外科 尾崎 絵美
6. 外陰部パジェット病に併発した恥骨骨髓炎の 1 例  
愛媛大学医学部附属病院 形成外科 戸澤 麻美
7. アポクリン腺癌の 2 例  
松山赤十字病院 形成外科 佐々木 健介

Section III (18:40~19:10) 座長：佐伯皮膚科・形成外科 佐伯 典道

8. 巨耳症を伴う片側顔面軟部組織過形成の 1 症例  
愛媛県立中央病院 形成外科 徳永 和代
9. 幼児下顎骨骨折の 1 例  
愛媛県立中央病院 形成外科 石野 憲太郎
10. 高度動脈硬化を伴う遊離腓骨皮弁による下顎再建の経験  
愛媛大学医学部附属病院 形成外科 中岡 啓喜

Section I (17:30~18:00)

座長：愛媛県立中央病院 形成外科 石野 憲太郎先生

1. IVR 後、晩発性放射線潰瘍を生じた 1 例

愛媛労災病院 形成外科

○木暮 倫久 加藤 嘉秀 黒住 望

近年、エックス線透視下で治療を行うインターベンションラジオロジーは多くの疾患の治療法として、広く普及している。しかし高線量率の透視などを長時間使用する場合もあり、放射線による皮膚障害を認める事例も報告されている。我々は 4 度の IVR を行い、最終 IVR から 3 年後に右腋窩から背部にかけて約 3×5cm の楕円形の潰瘍部とその周囲約 10cm の円形の色素沈着を認めた放射線潰瘍と思われる 1 例を経験したので報告する。

2. Buerger 病 2 例の治療経験

住友別子病院 形成外科

○渡邊 敏之 安井 史明

Buerger 病に内科加療と経皮的血管形成術 (PTA) を行い症状の軽快した 1 例を経験した。もう 1 例は内科加療と PTA 後も痛みの症状が軽快せず、後脛骨動脈周囲外膜切除術を行い症状が軽快した。文献的考察も含め報告する。

3. 指輪による右環指皮下異物の 1 例

石川病院 形成外科

○戸田 皓大

今回、我々は右環指の指輪が皮下に埋入した症例を経験した。指輪が皮下に埋入した例は稀であったため、症例を供覧し、若干の文献的考察を加え報告する。

Section II (18:00~18:40)

座長：松山市民病院 形成外科 光野 乃祐先生

4. Subcutaneous panniculitis-like T cell lymphoma の1例

四国がんセンター 形成外科

○藤田 悟志 河村 進

症例は、約半年ごとに上半身のみで発生する皮下硬結に対し計6回の切除手術を施行し、病理検査の結果 Subcutaneous panniculitis-like T cell lymphoma と診断した。経過と治療法についての考察を含めて報告する。

5. 神経鞘腫と病理診断された2症例の臨床像

愛媛県立中央病院 形成外科

○尾崎 絵美 小林 一夫 中川 浩志 徳永 和代 石野 憲太郎

症例1は61歳男性、頭部に腫瘤があり出血し、止血困難であるため当科を受診した。悪性腫瘍を考慮し、摘出術を施行したところ、病理検査で神経鞘腫と診断された。症例2は42歳男性、左足背に腫瘤があり徐々に増大したため当科を受診した。摘出術を施行し、病理検査で神経鞘腫と診断された。我々は術前に神経鞘腫と予想できず、病理検査にて診断が確定した症例を経験したので報告する。

6. 外陰部パジェット病に併発した恥骨骨髓炎の1例

愛媛大学医学部附属病院 形成外科

○戸澤 麻美 森 秀樹 中岡 啓喜

93歳女性。外陰部パジェット病術後に発熱と荷重時の大腿内側の疼痛を生じ、CTにて恥骨に骨融解像を認めた。MRSAが創部より検出されたため、MRSA 骨髓炎と診断した。約1か月の抗生剤点滴でも軽快せず、恥骨から右坐骨にかけて不良肉芽と腐骨をデブリードマンした。治療に苦慮しているため報告する。



## 7. アポクリン腺癌の2例

松山赤十字病院 形成外科

○佐々木 健介 庄野 佳孝

症例1は60歳、男性。下腹部に約1cmの結節を認め、局麻下に切除。病理検査にてアポクリン腺癌と診断された。症例2は70歳、男性。左腋窩に約3cmの腫瘤を認め、局麻下に切除。病理検査にてアポクリン腺癌と診断された。アポクリン腺癌の2例を経験したので若干の文献的考察を加え報告する。

## Section III (18:40~19:10)

座長：佐伯皮膚科・形成外科 佐伯 典道先生

## 8. 巨耳症を伴う片側顔面軟部組織過形成の1症例

愛媛県立中央病院 形成外科

○徳永 和代 小林 一夫 中川 浩志 尾崎 絵美 石野 憲太郎

症例は1歳女児で、生下時より右巨耳症と右側頬部から頸部に及ぶ軟部組織の過形成を認めている。両側頬部に円形のカフェ・オ・レ斑に類似した皮膚病変があるが、体幹や四肢には異常所見はない。また、その他の内臓疾患は認めていない。現時点では、MRI検査や病理検査は施行していない。診断名と今後の治療方針について(耳介の形成、軟部組織の減量など)、他病院の先生方にもご意見をいただきたく、症例を供覧する。

## 9. 幼児下顎骨骨折の1例

愛媛県立中央病院 形成外科

○石野 憲太郎 小林 一夫 中川 浩志 徳永 和代 尾崎 絵美

乳歯列期の幼児下顎骨骨折を経験したので報告する。症例は2歳女児。階段からの転落により下顎骨骨折を受傷。骨折部の偏移、咬合不正は明らかであった。プレートによる整復固定はスクリューによって顎骨内の永久歯を損傷する可能性があるためワイヤーによる囲繞結紮と連続歯牙結紮にて観血的整復術を行った。術後5か月でワイヤー除去し、歯列咬合に異常なく良好な経過を得た。

10. 高度動脈硬化を伴う遊離腓骨皮弁による下顎再建の経験

愛媛大学医学部附属病院 形成外科

○中岡 啓喜 森 秀樹 戸澤 麻美

72歳男性。左下顎癌のため当院歯科で左下顎区域切除、左頸部郭清、金属プレート+大胸筋皮弁再建。プレート露出に対する遊離腓骨皮弁再建時、高度動脈硬化で内膜剥離、縫合針刺入困難で苦勞した。2時間後、血流不良で開創、組織圧迫のため動脈が骨折様に屈曲し血栓を形成。再吻合時も動脈の可動性不良、内膜剥離、針刺入困難などで吻合は困難であったが、吻合部圧迫による動脈屈曲に最大限配慮したところ皮弁、骨は生着した。

愛媛形成外科研修会総会（19：10～）

1. 年間事業報告、次年度年間事業計画
2. 県医師会形成外科医会について
3. 次回研修会の日程
4. その他